



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月12日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東  
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中村 克彦 (TEL) 093-521-7030  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	61,780	4.1	4,047	19.7	4,111	15.6	1,482	△22.4
28年3月期第1四半期	59,375	1.4	3,380	3.6	3,554	6.5	1,911	6.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	49.78	—
28年3月期第1四半期	64.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	226,793	131,843	58.1	4,426.63
28年3月期	226,638	130,948	57.8	4,396.57

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 131,843百万円 28年3月期 130,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	119,000	1.4	6,100	9.5	6,200	5.5	2,600	△18.5	87.29
通期	239,000	4.0	12,300	41.2	12,500	34.3	6,200	19.2	208.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	29,784,400株	28年3月期	29,784,400株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	294株	28年3月期	294株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	29,784,106株	28年3月期1Q	29,784,106株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	8
(1) 商品部門別販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善等を背景とした緩やかな回復基調が続いているものの、為替や株価の不安定な動きにより先行き不透明な状況で推移しております。

家具・ホームセンター業界におきましても、異業種を含めた企業間競争の激化がさらに継続しており、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、お客様志向の徹底とお客様のニーズに合った商品政策の強化をさらに継続してまいりました。

また、経営基盤の充実のため店舗展開にも取り組み、4店舗の新規出店及び1店舗の増床をいたしました。同時に既存店の見直しもを行い4店舗を閉鎖いたしました。これにより当第1四半期会計期間末の店舗数は、33府県にわたり364店舗となりました。

売上高617億80百万円（前年同期比4.1%増）、売上総利益206億82百万円（前年同期比4.0%増）、売上総利益率33.5%（前年同期比0.0ポイント減）となりました。

また、販売費及び一般管理費は、新規出店の開設費用等もあり166億35百万円（前年同期比0.8%増）、対売上高比率は26.9%（前年同期比0.9ポイント減）となりました。

この結果、営業利益40億47百万円（前年同期比19.7%増）、経常利益41億11百万円（前年同期比15.6%増）となりました。なお、「平成28年熊本地震」の影響により固定資産や棚卸資産の毀損又は滅失等による震災関連費用9億83百万円を特別損失として計上したことにより、四半期純利益は14億82百万円（前年同期比22.4%減）となりました。営業利益、経常利益の段階では増収増益となりましたが、四半期純利益は減益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的天候不順に影響を受けやすい商品であります。当第1四半期累計期間は、売上高は272億96百万円（前年同期比6.3%増）、売上総利益95億64百万円（前年同期比6.3%増）、売上総利益率は35.0%となっております。

「生活用品」も、天候不順や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当第1四半期累計期間は、売上高は171億33百万円（前年同期比4.8%増）、売上総利益46億16百万円（前年同期比4.6%増）、売上総利益率は26.9%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当第1四半期累計期間は、売上高は123億83百万円（前年同期比0.1%増）、売上総利益50億9百万円（前年同期比0.3%増）、売上総利益率は40.5%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他が含まれておりますが、異業種を含め、企業間競争の影響を大きく受けております。当第1四半期累計期間は、売上高は49億67百万円（前年同期比0.1%増）、売上総利益14億91百万円（前年同期比0.6%増）、売上総利益率は30.0%となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の資産合計は、2,267億93百万円となり、前事業年度末と比較して1億55百万円の増加となりました。

#### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、905億45百万円（前事業年度末比5億57百万円増）となりました。増加の主な要因は、売掛金の減少（前事業年度末比3億59百万円減）、商品の減少（前事業年度末比2億21百万円減）などがあったものの、現金及び預金の増加（前事業年度末比13億68百万円増）などによるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,362億48百万円（前事業年度末比4億2百万円減）となりました。減少の主な要因は、有形固定資産の減少（前事業年度末比3億30百万円減）などによるものであります。

## (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、799億53百万円（前事業年度末比1億87百万円減）となりました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（前事業年度末比23億55百万円増）、未払金の増加（前事業年度末比12億96百万円増）などがあったものの、未払法人税等の減少（前事業年度末比14億43百万円減）、設備関係支払手形の減少（前事業年度末比25億30百万円減）などによるものであります。

## (固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、149億96百万円（前事業年度末比5億52百万円減）となりました。減少の主な要因は、長期借入金の減少（前事業年度末比5億52百万円減）などによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、1,318億43百万円（前事業年度末比8億95百万円増）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階では平成28年5月13日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

## (3) 追加情報

当第1四半期累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,420	24,788
売掛金	2,620	2,261
商品	60,889	60,667
その他	3,057	2,828
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	89,987	90,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,235	71,261
土地	46,598	46,501
建設仮勘定	888	687
その他(純額)	4,765	4,706
有形固定資産合計	123,487	123,157
無形固定資産	2,987	2,967
投資その他の資産	10,176	10,123
固定資産合計	136,651	136,248
資産合計	226,638	226,793
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,252	34,608
短期借入金	22,630	22,630
1年内返済予定の長期借入金	2,308	2,258
未払法人税等	2,491	1,047
未払金	4,859	6,156
設備関係支払手形	10,243	7,713
賞与引当金	1,059	579
役員賞与引当金	34	—
ポイント引当金	1,337	1,292
災害損失引当金	—	179
資産除去債務	—	68
その他	2,923	3,419
流動負債合計	80,141	79,953
固定負債		
長期借入金	4,005	3,452
退職給付引当金	2,754	2,797
役員退職慰労引当金	1,492	1,502
資産除去債務	4,603	4,685
その他	2,692	2,558
固定負債合計	15,549	14,996
負債合計	95,690	94,950

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	123,111	124,028
自己株式	△0	△0
株主資本合計	130,872	131,789
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	75	54
評価・換算差額等合計	75	54
純資産合計	130,948	131,843
負債純資産合計	226,638	226,793

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	59,375	61,780
売上原価	39,489	41,097
売上総利益	19,885	20,682
販売費及び一般管理費	16,505	16,635
営業利益	3,380	4,047
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	5	6
受取手数料	39	40
受取家賃	51	55
補助金収入	53	0
その他	88	40
営業外収益合計	245	150
営業外費用		
支払利息	44	43
不動産賃貸原価	19	19
その他	6	23
営業外費用合計	70	86
経常利益	3,554	4,111
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	—	29
特別利益合計	0	29
特別損失		
固定資産除却損	7	2
減損損失	331	775
災害による損失	—	983
その他	3	—
特別損失合計	342	1,761
税引前四半期純利益	3,212	2,379
法人税等	1,301	897
四半期純利益	1,911	1,482



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	25,689	16,355	12,366	54,410	4,964	59,375	59,375
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	25,689	16,355	12,366	54,410	4,964	59,375	59,375
セグメント利益	8,994	4,415	4,992	18,402	1,483	19,885	19,885

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	27,296	17,133	12,383	56,813	4,967	61,780	61,780
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,296	17,133	12,383	56,813	4,967	61,780	61,780
セグメント利益	9,564	4,616	5,009	19,191	1,491	20,682	20,682

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日) (至 平成27年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日) (至 平成28年6月30日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	25,689	43.3	27,296	44.2	106.3
生活用品	16,355	27.5	17,133	27.7	104.8
家具・ホームファッション用品	12,366	20.8	12,383	20.1	100.1
その他	4,964	8.4	4,967	8.0	100.1
計	59,375	100.0	61,780	100.0	104.1

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリー、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他